北九州 EVENT ワイド TOPICS

最期の時を自宅で（上）

福岡県水巻町の遠賀中間医師会館で3月26日に開かれた第139回患者塾。後半のテーマは「最期の時を自宅で」。在宅で最期の時を迎えるために、訪問看護などのサービスをどう利用すればいいか医師が語り合った。

人工肛門の場合

＜福岡市の63歳男性＞ 88歳の父親が大腸がんの手術をし、今は人工肛門をしています。父と2人暮らしで私は生活のために退職後も仕事をしていますが、訪問看護だけで大丈夫でしょうか。

平田さん　人工肛門のケアは訪問看護でも十分できます。かくしゃくとした人であれば自分で便を袋から出したりができると思います。もしも寝たきりなどでオムツが必要な人の場合、かえって人工肛門の方が家族や介護士のケアも楽なのではと思います。

西野さん　ケアマネジャーは介護保険の認定を受けた人の対応をする仕事です。病院にいるソーシャルワーカーは患者さんの生活を全部見るという役割です。だから基本的にまずソーシャルワーカーに相談するのが一番いいと思います。

ケアは訪問看護でも可能

訪問看護

小野村さん　「訪問看護で大丈夫ですか」とは「医師じゃなくてもいいんですか」ということだと思いますが、いかがですか。

西野さん　最初は絶対に医師がかかわるべきです。医師が病気の状態を考えて症状の進行の予想をしっかり説明し、予想できないことは「予想が難しい」と伝えるべきです。それが本人や家族の判断材料になります。

訪問看護は基本的には安定した状態を見ながら、少しずつ進行しても急激な変化ではなく、見るだけという感じでしたが、現在は制度的にできることが増えました。例えば緊急時の最終的な状態の時には、医師の指示書を基に看護師が点滴をするなどいろいろできるようになっています。

医師が最初のかかわりをできること増えた看護師

平田敬治さん

患者塾

医療の疑問にやさしく答える

第140回患者塾

健康情報のウソ、ホント

先週の「患者力トレーニング」を読んだ方からたくさんのお電話をいただきました。コラムは「健康に関するマスコミ報道や口コミ情報は、ちゃんと吟味しないと命取りになることもある」という内容で、いろんな質問が来ました。

「コレステロールは高い方が健康だっていう話がある。コレステロールを下げようとするのは、医者が患者を集めるための営業トークだと言う人さえいる。実際の所どうなんだろう」▽「心臓のカテーテル検査はしないでも、今はCTでできる。いきなりカテーテル検査をすると言われたら断った方がいい、と友人に言われた」▽「CT検査を何回もしたら白血病になると言われた」▽「大きな病院は紹介状がないと見てくれない。死にかけでも追い返されるらしい、と聞いた」

それぞれの質問に医師や連携室担当者が詳しく丁寧に答えます。

◆　◆

4月23日（土）午後3時～6時
遠賀中間医師会館（福岡県水巻町下二西2の1の33、093・201・3461）

考えよう「看取りの救急」

平田さん　外科医である私が知らないことがたくさんあると感じました。「訪問看護だけで大丈夫でしょうか」というお尋ねに対し、医師は「病院が訪問看護で大丈夫だと判断したから退院させたのです」と説明をしますが、その患者の家族の環境や訪問看護の内容を知った上で説明しているのかという反省はあると思います。

伊藤さん　本人も家族も自宅で看取ると思っていても、突然急変して救急車を呼ぶケースもあると思います。救急車で来られても逆に何もしてあげられず、処置をしようと思っても「しないでください」と言われることもあります。看取りの救急について考えていかなくてはいけない難しい問題だと思います。

記者の一言

妻の「最期」は病院だった。乳がんが見つかって5年目。最後の1年は入退院を繰り返したが「夏休みは家に戻る」と譲らなかった。自宅では痛みをこらえて台所に立ち、震える手で食事を準備。家族一緒に食事をした。それ以外の時は、ベッドで過ごす時間が長くなっていった。夏休みもあと1週間という日、痛みが限界を超え、あわただしく病院に戻した。その日から会話にならなくなった。病院に泊まり込んだが何もしてあげられず、夏休みの終わりに合わせるように妻は旅立った。今思えば、次の夏休みはないと悟っていたのだろう。ぎりぎりまで子どもたちとの時を大切にした妻を見送って、今秋で10年。最後の会話を覚えていないのが、つらい。【御手洗恭二】

◇出席された方々
西野　憲史さん＝西野病院院長（北九州市）
伊藤　重彦さん＝北九州市立八幡病院副院長（外科）
井上　征雄さん＝北九州市立八幡病院救急科主任部長
平田　敬治さん＝福岡山王病院外科部長（福岡市）
津田文史朗さん＝つだ小児科アレルギー科医院院長（福岡県水巻町）

◇司会
小野村健太郎さん＝おのむら医院院長（福岡県芦屋町、内科・小児科）

質問は事務局へ
〒807-0111
福岡県芦屋町
白浜町2の10
「おのむら医院」内
電話093・222・1234
FAX093・222・1235